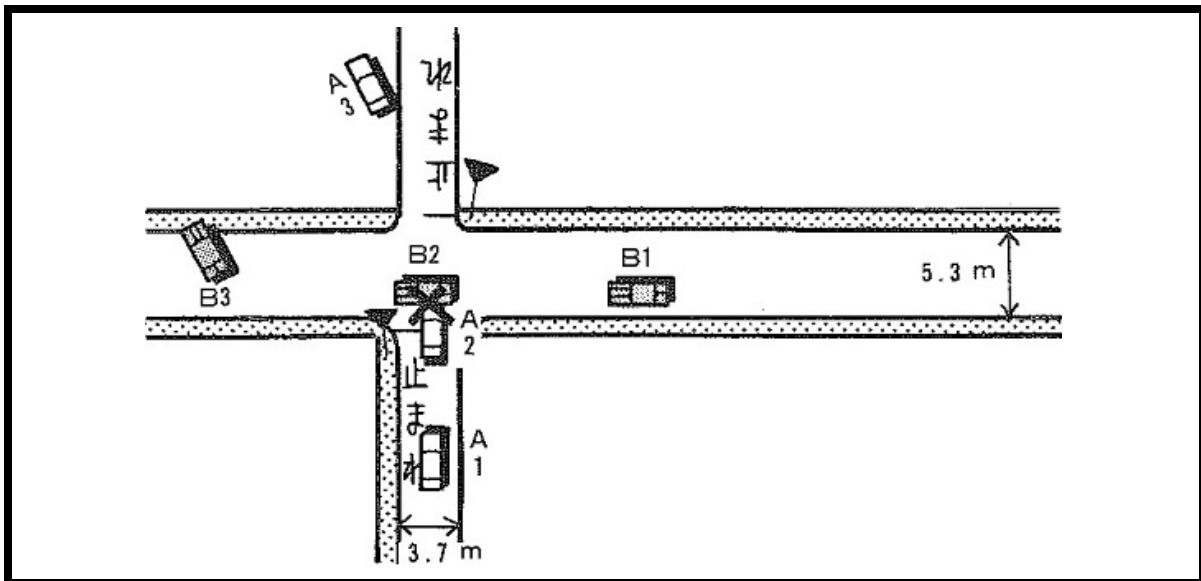


## ■事故の概況



事故類型：出会い頭

発生日時：曇り 午前

当事者A：普通乗用車 80歳代 男性

当事者B：普通乗用車 60歳代 男性

## ■ 事故の概要

A車は、幅3.7mの見通しの良い道路を時速約40kmで走行中、考え事をしていたため、前方交差点の一時停止標識を見落とし、そのまま交差点に進入しました。このため、交差点を右方から進行してきたB車の左側面に自車前面を衝突させ、左前方のたんぼに転落しました。Aは、衝突するまで、B車にまったく気が付きませんでした。

Bは、自車が優先道路なので、交差点では相手が停止するだろうとの意識から、左右の安全を確認せず時速約45kmで走行していました。交差点の14m手前で初めてA車に気づきブレーキをかけましたが、間に合わず衝突しました。

## ■ 事故から学ぶ

この事故はAの漫然運転による前方不注意(そのため一時停止標識を見落とした)が主な原因です。Aは前日から心配事があり、あまり眠れず、考え事をしながら運転していたために一時停止標識を見落とし、さらに交差車両にも気づかず、衝突してしまいました。普段からよく通る道なので、慣れから漫然運転になってしまったようです。何度も通っている道路では、緊張感が薄くなりがちです。通り慣れた道路でも緊張感を持った運転を心がけて欲しいものです。

また、Bは優先道路だから、交差道路から来る車は当然停止するものだという先入観が強く、安全運転意識が薄かったように思われます。

道路交通の場では多くの車や人が混在しており、すべてのドライバーが必ずしも熟練の運転者ではなく、交通ルールも遵守するとは限りません。自分勝手な思い込みや、判断ではなく、その場の交通状況に柔軟に対応した安全運転を心がけたいものです。